



3年生は、私立高校と公立高校推薦・特色化選抜の入試を終え、3月10日(火)の公立高校の一般入試に向けてラストスパートをかける時期となりました。3年生全員がしっかりと進路選択に向けて取り組む姿が見られています。1年生・2年生もキャリア教育での学びを通して、将来についての目標をもちながら、3年生が進路選択に向けて頑張る姿をしっかりと見ているものと思います。

SNS等の利用について考えてください!!

先週金曜日に生徒指導担当の橋口先生から、SNS等のやり取りについて、次のような大切な話をしました。

最近、生徒の間から「知らない人から不適切なメッセージが送られてきた」「写真を要求された」「しつこく連絡が来て困った」といった声が聞こえてきました。実は、これらは深刻なトラブルに発展するかもしれない問題で、一人一人の注意が必要です。今から特に気をつけてほしい4つのポイントを示します。

① SNSのアカウントに個人を特定できるような写真や情報をのせないこと

② 知らない人とやり取りをしないこと

<知らない人からの DM を開いてしまうと、被害者になったり加害者になったり、事件に巻き込まれてしまうかもしれません。知らない人からのメッセージは、開かないし、絶対に返信ないようにしましょう。>

③ 自分の画像や動画を知らない人に送らないこと。また、他の人の写真や動画を勝手に送らないこと

④ SNSに関するトラブルは、学校だけでは解決できないということ

<SNS関係のトラブルは、必ず保護者に連絡し、警察等の関係機関とも連携しながら、解決を図ります。

SNS関係のトラブルは、学校内だけではおさまらない、それだけ重大なことだと知っておいてください。>

万が一、トラブルにあったときは、周りの大人に相談しましょう。みなさんの安全が一番大切です。困ったことがあったら、一人で悩まず、必ず大人に相談してください。

SNSは、便利で楽しいものですが、使い方を間違えると、大変危険なものです。今回の話をきっかけに、もう一度、家族で話をしながら使い方を見直してみてください。

博多座 歌舞伎「あらしのよるに」

先日、博多座で、中村獅童さん出演の歌舞伎「あらしのよるに」を観劇しました。原作は、木村裕一さんの絵本『あらしのよるに』です。嵐の夜に出会ったオオカミとヤギが、互いの正体を知らずに友情を育てる物語です。

みなさんは、読んだことがありますか？(小学校の国語の教科書にも掲載されていたとのこと)

「あらしのよるに」が教えてくれるのは、「違い」は怖いものではなく、理解し合うことで力に変わるということです。オオカミとヤギのように、本来なら分かり合えないと思い込んでしまいそうな相手とも、勇気を出して向き合えば友情が生まれるということです。学校生活も同じです。クラスや部活動には、自分と考え方や性格、得意なことが違う人がたくさんいます。その「違い」を避けるのではなく、尊重し、対話し、認め合うことができれば、学級、部活動はもっと温かく、力強い集団になるに違いありません。

そして、歌舞伎「あらしのよるに」の魅力は、伝統的な様式美と、現代の絵本のやさしい世界観が見事に重なり合っている点です。見得や立ち回りといった古典の表現に、絵本ならではの温かさやわかりやすさが加わることで、初めて歌舞伎にふれる人にも心に届く舞台となっています。昔から受け継がれてきた芸能が、現代の物語を取り入れることで新たな命を得る。そこに、伝統文化が今も生き続ける力強さを感じます。

伝統ある歌舞伎が現代の絵本を取り入れたように、みなさんも「これまで」を大切にしながら「新しいこと」に挑戦してほしいと思います。行事や学習、部活動でも、今までのやり方を学びつつ、自分なりの工夫を加えることで、新しい価値が生まれます。違いを恐れず、新しさに挑み、仲間とともに歩むこと、その積み重ねが、かけがえのない中学校生活をつくることに繋がるものだと思います。

今後の行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
2月20日(金)	学校運営協議会	3月6日(金)	職員研修(生徒は昼食後下校)
2月27日(金)	わかば学級卒業生を送る会	3月10日(火)	公立高校一般入試
3月5日(木)	2年生進路学習会	3月13日(金)	第79回卒業証書授与式